

社会科の授業づくり

～導入の進め方 1～

岐阜県教育委員会

令和6年3月 更新

社会科における導入の指導に対する先生方の困り感

- 教師主導で学習課題につなげてしまうことが多い。
- どんな資料を提示すると、子どもが疑問をもって自ら学習課題を設定できるのかを知りたい。
- 学習課題を設定するまでに、いつも時間がかかってしまい、子どもたちの追究の時間を十分に確保できない。



「導入の進め方」 (例)

- (1) 資料の提示の仕方を工夫する。
- (2) 既習内容における子どもの疑問を提示する。
- (3) 既習内容とのずれを捉えられるようにする。
- (4) 子どもが経験したことと比較できるようにする。
- (5) 単元の学習計画に基づいて設定する。
- (6) 単元を貫く課題について考える。
- (7) 社会に見られる課題に対して、自分たちができることを考える。



(1) 資料の提示の仕方を工夫する

(例) 小学校第4学年「特色ある地いきと人々の暮らし」



「世界遺産に登録された頃の荻町の様子」 (1995年)

「H25年の荻町の様子」 (2013年)

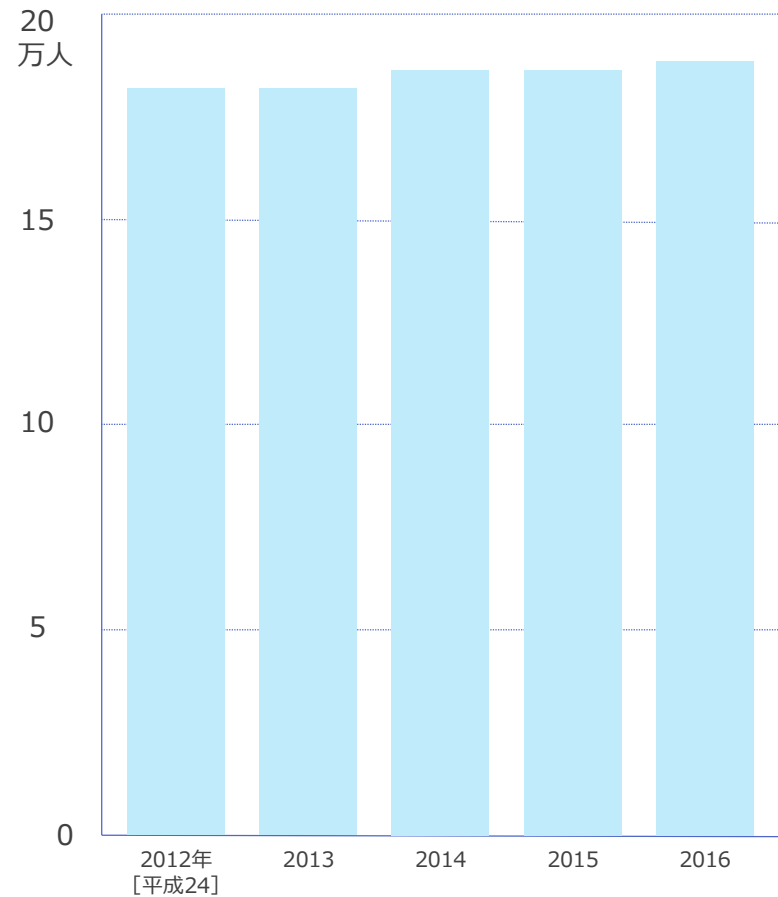
①左の資料から事実を読み取る

②2枚の写真を比較し、疑問点を問う

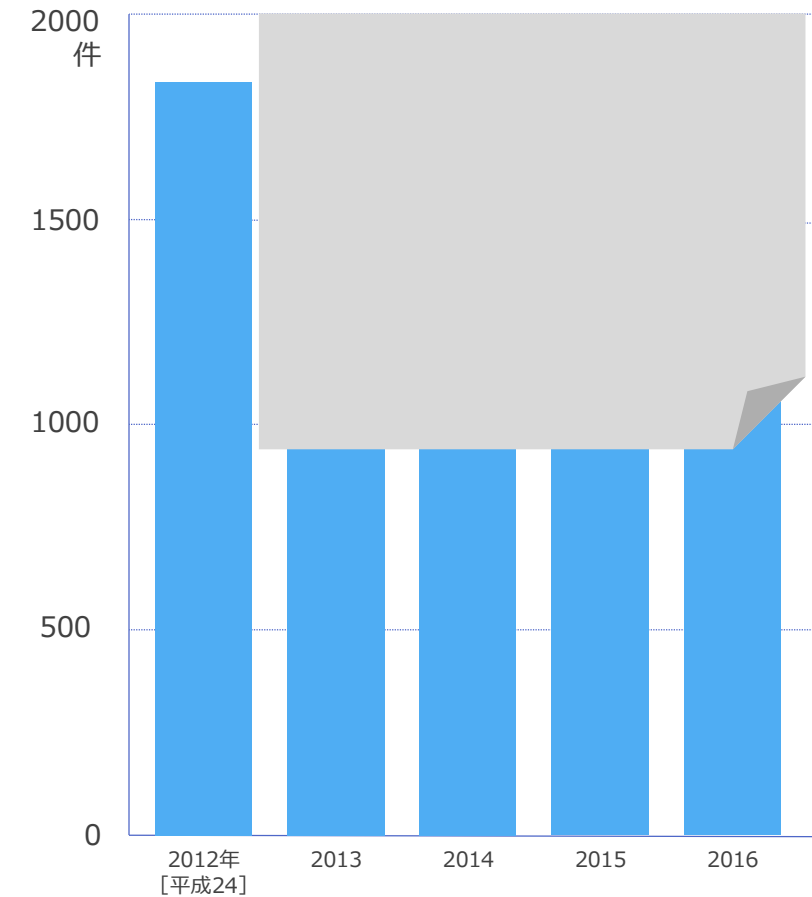
(1) 資料の提示の仕方を工夫する

(例) 小学校第3学年 「事けんや事こからくらしを守る」

- ① 資料1を提示し、事実を確認する。
- ② 資料2を一部隠して提示し、発問する。「この後、〇〇市の事件発生件数はどうなっていくと思いますか。理由と共に教えてください。」
- ③ 数値を確認しながら少しずつ隠した部分を示す。
- ④ 数値の移り変わりから疑問を問う。



〇〇市の人口

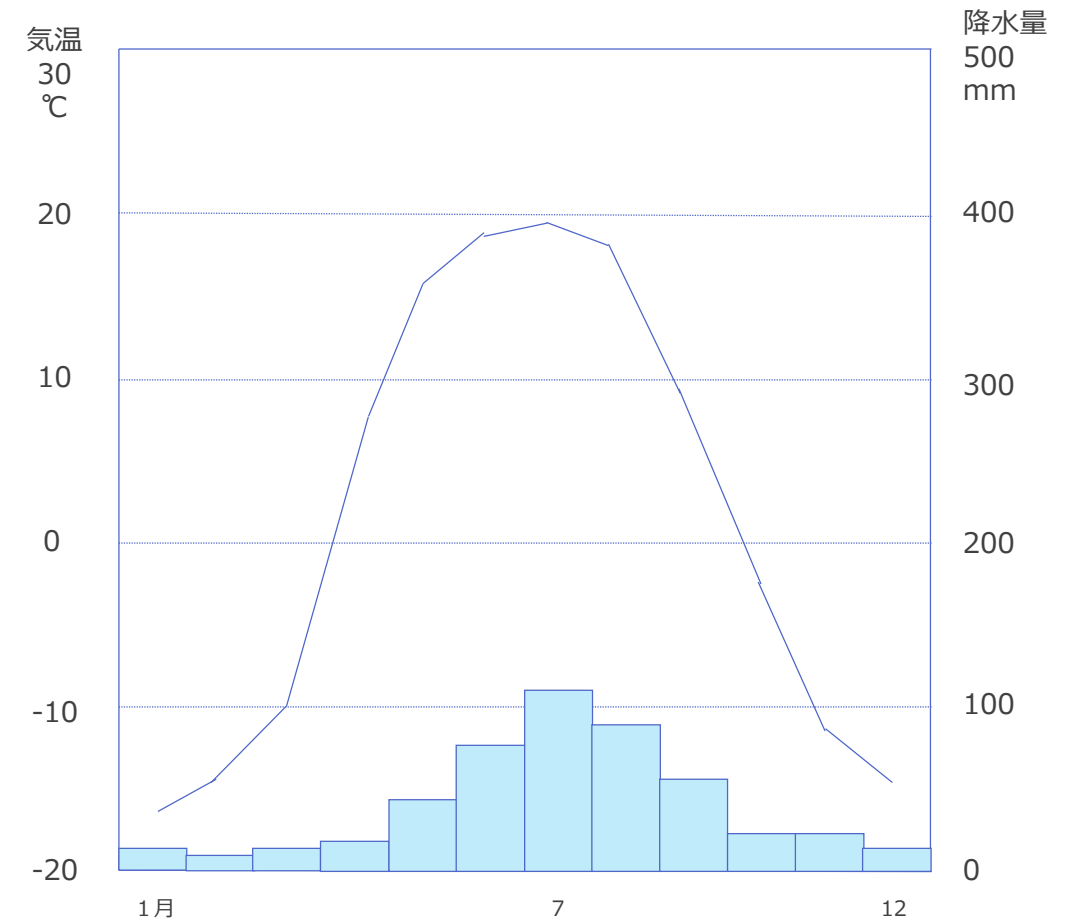


〇〇市の事件の数

(1) 資料の提示の仕方を工夫する

(例) 中学校第1学年「世界各地の人々の生活と環境」

- ① 既習の資料を使って前時の学習を振り返る。
- ② 前時と共通する資料を提示する。
- ③ 前時の学びとは異なる情報が得られる資料を提示する。
- ④ 生徒の疑問を基に課題を設定する。
- ⑤ 前時に働かせた見方・考え方を基に追究の予想をもてるようにする。



イルクーツクの雨温図

(2) 既習内容における子どもの疑問を提示する

(例) 中学校第2学年「産業の発展と幕府政治の動き」

- ① 前時の学びを資料を基に振り返る。
- ② 前時の学習の振り返りを取り上げ、学級で共有する。
- ③ 年表を確認し、以降の政治改革を行った年や人物を確認する。
- ④ 「○○さんは、今後の政治改革は上手いかなかったと考えていますが、みなさんはどうですか。」

徳川吉宗は幕府の財政難に対応するために、倹約令を出し、武士の質素・倹約を命じたり、上げ米の制を定めたり、新田開発に力を入れたりすることで、幕府の財政を一時的に立て直すことができた。貿易が制限されたことにより、産物の国産化が進んでいったが、一方で、農民の間で貧富の差が拡大してしまった。そのような中、幕府や大名は年貢を増やすようになり、それに耐えかねた百姓が一揆や打ちこわしを起こして抵抗していった。吉宗が行った享保の改革は幕府を立て直す改革に至らなかった。今後、いくつかの改革があるが、誰がどのような改革を行ったのか、どんな結果だったのかを詳しく調べたい。私は様々な改革は上手いかなかったのではないかと予想する。

(3) 既習内容とのずれを捉えることができるようにする

(例) 小学校第5学年「自動車をつくる工業」

【前時】 組み立て工場における自動車が作られる過程

- ① 既習内容を振り返る。
- ② 導入時に、実物の完成品を提示する。
- ③ 気付いたことを交流する。
- ④ 提示した完成品の1つが不良品であり、出荷しないことを伝える。



微細な傷がついたホイールカバー

(4) 子どもが経験したことと比較できるようにする

(例) 小学校第3学年「火事からくらしを守る」

- ① 消防署見学で、消火活動に関わる装備品を持ったり、身に付けたりする体験を行う。
- ② 「出動訓練の様子」に関する動画を視聴する。
- ③ この訓練が、定期的に何度も繰り返し行っていることを提示する。

「学び方の指導」

□ 教師と子どもたちで学び方を共有する。

(例) 導入資料を提示した際

- ・ 事実を捉える。
- ・ 考えたことや思ったこと。
- ・ 疑問に思ったこと。
- ・ 疑問についての予想

□ 日々の授業で価値付け、鍛える。



「導入の進め方のポイント」

- 資料の提示の仕方を工夫し、事実を確実に捉えることができるようにする。
- 前時までの子どもの疑問を全体で共有する。
- 既習内容と異なる事象を提示することで、意識のずれを生む。
- 本時と前時までの学びのつながりを教師が明確にもち、授業を構想する。



社会科の授業づくり～導入の進め方 1～

岐阜県教育委員会